

最初にお読みください

事故防止のため、

運転中は絶対に操作しないでください。

GPSは

屋内、地下、トンネルでは受信しません。

屋外の見通しが良い場所まで移動してご覧ください。

このたびは、当製品をお買い上げいただき
まことにありがとうございます。

この取扱説明書はご使用前によくお読みいただき、大切に保管してください。

- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 本機の取り扱いについて、使用上の注意事項などから逸脱しての使用によって生じた障害および損害については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 運転中は画面を注視したり、操作をしないでください。交通事故やけがの原因となります。
- 本機の故障、誤動作または不具合によるmicroSDカードなどの保存データの消失等については補償できません。
- 仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お知らせ

本書で使用している画像は開発中のイメージ画像の為、
実際の製品とは異なる場合があります。

記載内容に不備がある場合は、
新しい取扱説明書を公開している場合がございます。

取扱説明書の最新バージョンは、
以下のURLからご確認いただけます。

<https://maxwin.jp/download/115836/>



※取扱説明書のダウンロードファイルはPDF形式になります。
※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。

目次

■安全上のご注意	1
■無線LANに関する注意	3
■ドライブレコーダー機能搭載モデル使用に関するご注意	4
■microSDカードについて	6
■取付上のご注意	7
■本製品の防水性能について	7
■お手入れについて	7
■同梱品一覧	8
■本体各部名称	9
■取り付けの前に	10
■取付について	11
■本体取付方法	12
■カメラの取付例	15
■microSDカードの装着	16
■ホーム画面	17
■CarPlay／Android Autoについて	19
■メーターパネル画面	20
■設定画面	21
■ドライブレコーダー画面	22
■録画設定について	23
■再生画面	24
■スマートフォン用再生アプリについて	25
■製品仕様	26
■よくあるご質問	27

安全上のご注意

この取扱説明書及び製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよくご確認くださいから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



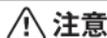
注意

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、傷害または家屋、家財など損害が想定される内容を示しています。

警告

- 本機は12Vバッテリー搭載車専用です。
6V車やバッテリーレス車等へは、取り付けしないでください。
火災や故障の原因となります。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。
- 電源コードの被膜を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。
電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 表示しないなどの故障状態で使用しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、ただちに使用を止めて電源をOFFにして下さい。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 運転者は、走行中にmicroSDカードの抜き差しやスイッチの操作をしないでください。
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 本機が衝撃を検知するかを確かめるために故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。
発煙、発火、感電の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、本機に触れないでください。
落雷により、感電の危険性があります。
- 本機を使用するために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- microSDカード挿入口に異物を入れないでください。
火災や感電の原因となります。
- 乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
付属品を誤って飲み込んだり、怪我の原因となります。

安全上のご注意



注意

- 本機に、強い力やショックを与えることはしないでください。
火災、故障のおそれがあります。
- 夏場などに長時間、直射日光が当たった場合は、素手で触らないでください。
直射日光が当たった場合などは、高温になり、火傷をする可能性があります。
- 煙、匂い、発熱、異音等の異常現象がある場合は、ただちに使用を止めて電源をOFFして下さい。
発煙、発火、感電、故障につながります。
- バイク等の運転中に本機の操作はしないで下さい。
本機の操作は運転前か終了後に行ってください。
- 極端な高温や低温でのご使用は、誤動作や故障の原因となります。
- 本機を強くたたく、ものをぶつけるなどの強い衝撃をあたえないでください。
故障や破損の原因となります。
- 本機への直火やドライヤーなどの急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因となります。
- 本機をアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなど揮発性の薬品類で拭かないでください。
変形や変質、破損の原因となります。
- 磨き砂などが配合された洗剤で拭かないでください。
キズの原因となります。
- 電源ケーブルや各 부품のケーブルを傷つけたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりしないで下さい。
- 電源ケーブルや各 부품のケーブルの芯線の露出、断線などがあつた場合は、販売店にご相談下さい。
そのまま使用すると、感電、発熱、火災の原因になります。
- 電源ケーブルや各 부품のケーブルを改造したりしないで下さい。
火災、感電の原因になります。
- 電源ケーブルや各 부품のケーブルは必ず付属のものをご使用ください。
また他の製品に使用しないで下さい。
火災、感電の原因になります。

無線LANに関する注意

- 本製品は、技術基準適合証明を受けています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。なお、日本国内以外で使用する場合には、各国の電波法に抵触する恐れがあります。
- 本製品には技術基準適合番号が刻印されています。この番号を消した状態で使用すると電波法違反となります。
- 分解したり改造したりすることは電波法で禁止されています。絶対におこなわないでください。
- 本製品は 2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。
上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。そのため、本製品の通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。
- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本製品の電源を切ってください。
電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 本製品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。
電子機器や心臓ペースメーカーなどが誤動作するなどの原因となることがあります。
また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。
- 本製品はすべてのスマートフォンとの接続動作を確認したものではありません。そのためすべてのスマートフォンとの動作を保証するものではありません。

ドライブレコーダー機能搭載モデル使用に関するご注意

- 本機はカメラを接続することで、ドライブレコーダー機能が使用できるようになります。
- 本機は、運転時の状況を記録することが目的です。
その他の目的では、使用しないでください。
- microSDカード挿入口に手や指を入れしないでください。
けがの原因となることがあります。
- クリーナーなどのスプレーや水分などを本機にかけないでください。
両面テープが剥がれリアカメラが脱落するおそれがあります。
- 本機には必ず仕様に適合したmicroSDカードをご使用してください。
- microSDカードを挿入口から挿入してお使いください。
microSDカードを挿入しないと、ドライブレコーダー機能は動作しません。
- microSDカードを本機に挿入する場合、向きに注意してください。
- microSDカードの抜き差しは必ず電源OFFになっていることを確認してください。
本機が動作中にmicroSDカードの抜き差しを行うと破損するおそれがあります。
- microSDカードには本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。
映像や画像が正しく記録されないことがあります。
- カメラ・レンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽くふいてください。乾いた布で強くこするとキズの原因となります。
- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象※が発生したり、その光源の中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。
※ブルーミング現象:強い光源の周辺や、非常にコントラストの強いシーンを撮影した場合に撮像素子が強い光を受け、周囲の画素にあふれ出す現象です。
- 以下の場合などは、映像の記録ができないことがあります。
 - 1.本機にmicroSDカードを挿入していない場合
 - 2.本機からmicroSDカードを抜いた場合
 - 3.本機の仕様に適合するmicroSDカード以外を使用した場合
 - 4.記録した古い映像が、新しい記録によって消されて(上書きされて)しまった場合
 - 5.大きな事故や水没などで本機及びmicroSDカードが損傷を受けた場合
 - 6.大きな事故の場合などで本機の電源ケーブルが断線した場合
 - 7.低速で衝突、または、相手車両との相対速度が小さい状態で衝突した場合
 - 8.本機の本体が固定されていないなど、本機の取付状態に問題がある場合

ドライブレコーダー機能搭載モデル使用に関するご注意

- 本機は事故の検証に役立つことも目的の1つとした製品ですが、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合には弊社は一切責任を負いません。
- 本機は録画状態で使用することにより映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 録画された画像は事故の証拠として効力を保証するものではありません。
- 故障や本体の使用途中によって生じた損害、及び記録された映像やデータの損害、破損による損害は、法律上の請求の原因の種類を問わずいかなる場合においても本製品の使用または使用不能から生じる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失又はその他の金銭的損害を含む）に関して、弊社は一切の責任を負わないものとします。
- 本機は常時記録型の映像記録装置です。microSDカードの記録がいっぱいになると古い映像から順に消して新しい映像を記録（上書き）します。事故などでデータが必要な場合は、速やかに車両のエンジンキーをオフにし、microSDカードを抜いてパソコンに保存するなどの対応をお願いいたします。
- 記録した映像を残しておきたい場合は、パソコンのハードディスクにコピーしておくなどの対応をお願いいたします。
- 車両のバッテリー劣化などにより、入力電圧が低い場合には、録画は動作しないことがあります。
- 運転中は走行中に本機を注視したり操作しないでください。前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。操作する場合は安全を確保したうえで行うようにしてください。
- 本機が起動中にmicroSDカードを抜かないでください。
microSDカードが破損し、映像を記録できなくなるおそれがあります。microSDカードの破損で映像が記録できない件については、弊社は一切責任を負いません。
- スマートフォンアプリはスマートフォンの機種やAndroid、iOSなどのバージョンにより対応しないものがあります。
- LED式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件について弊社は一切責任を負いません。

■もしも事故に遭われた場合のご注意

- 1.もし事故に遭われた場合は、録画ボタンを押して録画を停止してください。
- 2.安全な場所に停車し、本機の電源がOFFであることを確認してから、microSDカードを抜いて大切に保管してください。

microSDカードについて

- 本機でドライブレコーダー機能を使用するときは、microSDカードが必要です。
- 使用できるmicroSDカードについて
本書では特にことわりのないかぎり「microSDHCカード」、「microSDXCカード」をmicroSDカードと総称して表示しています。
本機では下記のSD規格に準拠したmicroSDカードに対応しています。
 - ・microSDHCカード: 容量:32GB、スピードクラス:U3以上
 - ・microSDXCカード: 容量:64～256GB、スピードクラス:U3以上※microSDXCカードを使用する場合は、初めに本機でフォーマットを行ってください。
※全てのmicroSDカードでの使用を保証するものではありません。
- ご使用の際には、必ずmicroSDカードに付属の取扱説明書も合わせてご確認ください。
- microSDカードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。
- microSDカードによっては、挿入、取り外しにくい場合があります。
- microSDカードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- 使用状況によりmicroSDカードの寿命は短くなります。
※寿命となったmicroSDカードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常にご使用できなくなります。
- 正常に使用していた場合であっても、microSDカードは消耗品のため、定期的に新品交換またはフォーマットすることをおすすめします。
- 長期間フォーマットがされていない場合、デフラグ(断片化)が発生し、正しく録画がされない可能性がありますので、定期的にフォーマットを行ってください。
- フォーマットは本機で行うようにしてください。本機以外の製品やパソコン等によるフォーマットでは正しく録画ができない場合があります。
- microSDカードに異常がある場合、本機でフォーマットができない場合があります。
- microSDカード内へ本機以外のデータを保存しないでください。正常に動作しなくなる場合があります。
- microSDカードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- microSDカードの容量や保存されているデータ量によっては、起動時間や録画ファイルの読み込みに時間がかかる場合があります。
- 変形しているmicroSDカードを使用するとエラー発生および故障の原因となります。
- 重大な事故などで本機内部電源が断たれた場合やmicroSDカード自体が破損した場合、記録することができない場合があります。また、記録されているデータが破損する可能性があります。
- 本機の動作温度が仕様外の場合、microSDカードが正常に動作しない場合があります。
- microSDカードの消耗に起因する故障や損傷においては、弊社が保証するものではありません。
- あらゆる事象において破損、消失したデータの復旧サービス等は行っておりません。
- 思わぬ故障や破損等により、データが消失する可能性がありますので、定期的なデータのバックアップをおすすめします。

取付上のご注意

- 取付作業は環境の整った、専門知識のある作業者がいる修理工場や車両販売店での取付をおすすめします。
- 商品可動部の調整、部品の組み換え、車体への取り付けと装着は全て使用者本人の責任において行ってください。
- 取付作業の際は、安全の為、車両側の電源OFF状態で作業し、必要に応じて電源ONで通電等の機能確認をお願いします。
- 作業後は必ず各システムの動作確認(車両側、本製品側)をお願いします。
- 取付後、約50km走行しましたら、各部を点検してネジ部の増締めを行ってください。
- その後は、約100km毎に必ず点検し、同様の増締めを行ってください。

本製品の防水性能について

- 本製品の本体、カメラは防水規格IP65相当の仕様となっています。
 - ※防水性能は当社試験方法によるものです。
 - ※完全防水ではありませんので、水中では使用しないでください。
- 本製品の各部品への内部浸水/結露による故障は、保証期間内であっても保証対象外となります。あらかじめご了承ください。
- 本製品をご使用の際は、湿気や高温(50℃以上)、極端な温度変化のある環境下を避けてください。

お手入れについて

- モニター本体
モニター表面が汚れていると映像が見えにくくなることがあります。
あらかじめ乾いた柔らかい布などで汚れをそっと拭き取ってください。
- フロント/リアカメラ
カメラのレンズが汚れていると鮮明な画像が得られません。
水滴やホコリなどが付着した時は水で湿らせた柔らかい布でレンズを清潔にしてください。

同梱品一覧

本機には以下の付属品があります。お使いになる前に以下のものがすべて入っているか確認してください。

万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、お買い上げいただいた販売店にご連絡ください。



本体



取付ブラケット



USB電源ケーブル



車体接続電源ケーブル



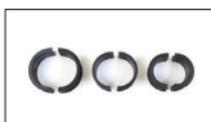
ブラケット
固定ネジ・ナット



本体固定ネジ



衝撃吸収ゴム



スペーサー(3サイズ)



モニターバイザー



モニターバイザー
固定ネジ



工具セット

ドライブレコーダー機能搭載モデル カメラ付属品



カメラ



カメラ接続ケーブル



カメラブラケット



カメラブラケット
ベース



両面テープ



カメラ固定ネジ・ナット



カメラブラケット
固定ネジ



結束バンド

※ロットにより仕様が異なる場合があります。

本体各部名称



①モニターバイザー固定ネジ穴

②液晶画面

③録画開始/停止 ※カメラ接続時

④カメラ表示切替 ※カメラ接続時

⑤ホーム画面表示

⑥画面表示ON/OFF(長押し)

⑦microSDカードスロット/
USB Type-Cポート

⑧GPSモジュール

⑨スピーカー

⑩ブラケット固定ネジ穴

取り付けの前に

■作業の前に

- 異常発生時やお問い合わせはまず、購入された販売店、またはサポートにご相談ください。お客様による修理/分解は、絶対おやめください。
- 取り付け前に構成部品をご確認ください。
- 取り付けには、内張り外し道具、養生テープ、布、ドライバー（プラス、マイナス、星形T20）、10mmレンチ、電動ドリル（8.5mm）、ニッパー、ペンチ、カッターナイフ、結束バンド、通線ワイヤー、マスキングテープ、脱脂剤、はさみ、センターポンチまたはマジックペン、保護メガネ、保護手袋が必要です。
- ねじやボルト、ナットの取り付けには、サイズの合う工具をお使いください。

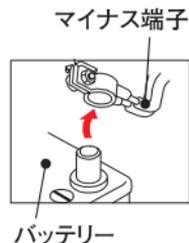
■作業の進め方

- 1.各部品の取り付け位置を決める
取り付けレイアウトを参考に各部品の取り付け位置を決めます。
※必要に応じ、車両の部品（シートなど）を取り外してください。
- 2.本取付前に動作確認する
- 3.車両側の部品取り付け場所を清掃する
両面テープで貼り付ける部分の油分や汚れを取り除くため、無水アルコールなどでよく拭き取ります。
- 4.本体・各部品を車両に取り付ける
- 5.各ケーブルを接続する
- 6.取り外した車両部品を元通りに復元する

■本体の動作確認

本取付前、製品が正しく動作するか仮配線して確認してください。

- 1.バッテリーのマイナス端子を外す。
- 2.本体に各部品のケーブルの端子を接続する。
- 3.電源ケーブルを接続する。
※ACC端子:車両のイグニッションキーがONのときに12V、OFFのときに0Vとなる線に接続する。
※GND端子:車体のアースに接続する。
- 4.動作確認する（フロント/リアカメラ映像表示など）。
- 5.電源OFFにする。バッテリーのマイナス端子を外し、本取付を行う。



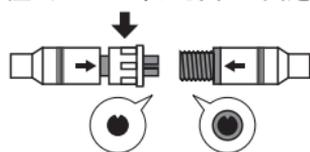
マイナス端子を外す際の注意

- 純正カーナビの暗証番号の再入力が必要な場合があります。
- 純正カーナビの設定がリセットされます。
- 時計がリセットされます。
- その他、電子機器の再設定が必要です。

取付について

本体と各ケーブルの接続は、下図のようにコネクタの色を合わせて接続するだけで完了します。コネクタ同士は矢印を合わせて差し込み、ネジを回して固定します。

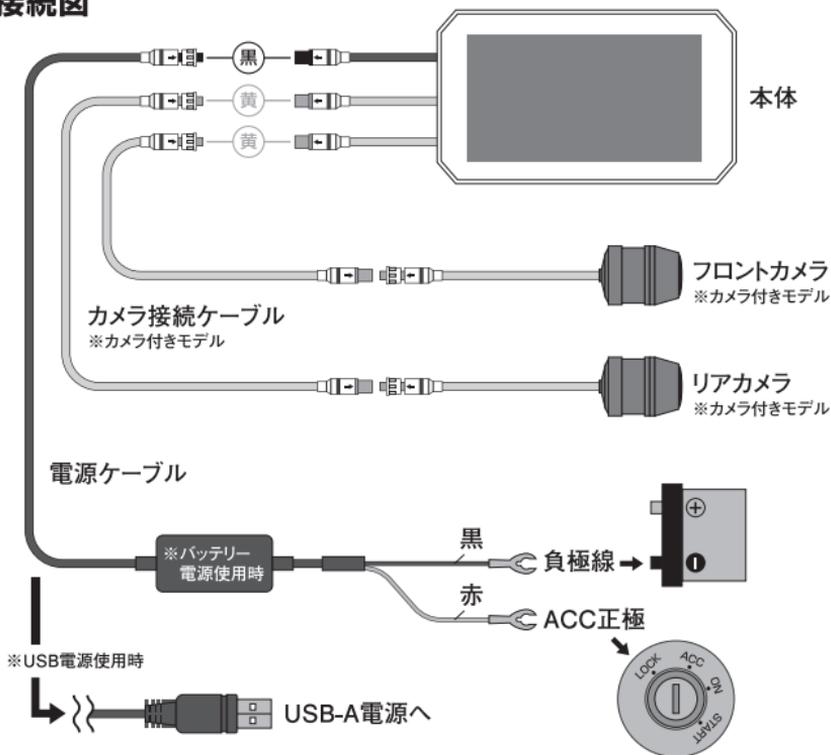
差し込んだらネジを回して固定



注意

- 無理な接続はコネクタの破損や故障の原因となります。
- バイクへの取付は専門業者のご利用をおすすめします。

接続図



本体取付方法

下記記載の取付手順は一例です。取り付ける際の参考にしてください。

- ❶ 付属の六角レンチを使用して、ブラケット固定ネジ・ナットでブラケットを仮締めします。

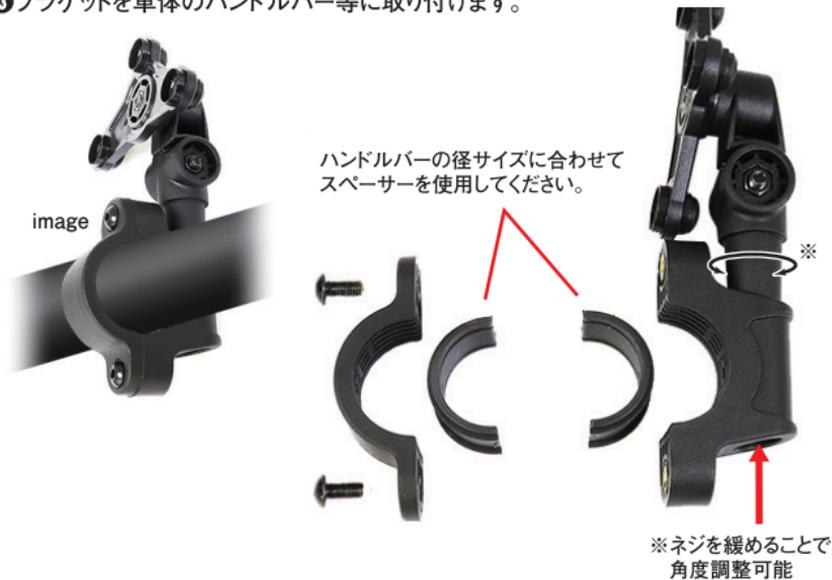


- ❷ 衝撃吸収ゴムを画像のようにブラケットにはめ込みます。



本体取付方法

- ③ ブラケットを車体のハンドルバー等に取り付けます。



- ④ ブラケットと本体をネジで固定します。



本体取付方法

- ⑤ 本体の角度を前後左右に調整して固定ネジを本締めします。



- ⑥ 本体にモニターバイザーを取り付け、ネジで固定します。



※部品が小さいため紛失しないようご注意ください。

取付例



カメラの取付例

ドライブレコーダー機能を使用する場合、オプションのカメラを以下のように取り付けてください。



① ブラケットにカメラを挟み込ませます。



② ブラケットとブラケットベースの接続部をかみ合わせます。



③ カメラ固定ネジでブラケットを締め固定します。



④ 両面テープやブラケット固定ネジでバイクに固定します。



注意

カメラはタイヤが巻き上げた砂や石が当たりにくい場所に取付けてください。

microSDカードの装着

ドライブレコーダー機能を使用する場合はmicroSDカードを装着してください。

■microSDカードを挿入する

①本機の電源がOFFになっていることを確認し、SDカードキャップを外します。



※部品が小さいため
紛失しないようご注意ください。

②カバーをずらし、メモリーカードの端子面を裏にして挿入します。



■microSDカードを取り出す

①本機の電源がOFFになっていることを確認し、SDカードキャップを外します。

②カバーをずらし、メモリーカードを押ししてカードが少し出たら引き抜きます。

※カードを取り出す際に飛び出すことがありますので、紛失にご注意ください。

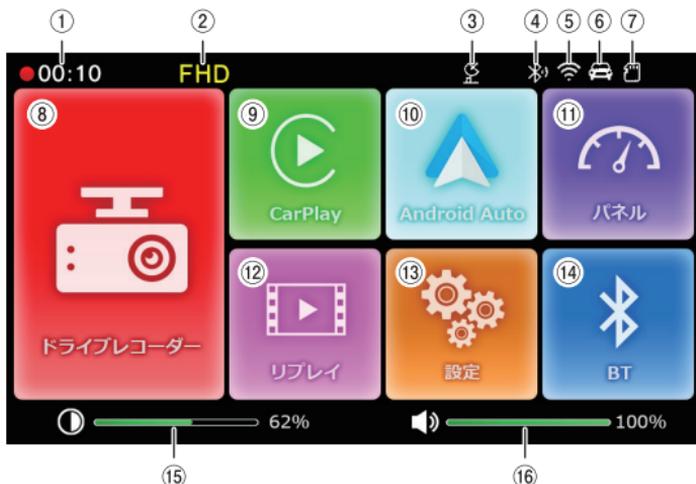


注意

microSDカードを取り出し/交換する際、引っ掛かりがある状態での作業は行わないでください。無理な力が加わると破損する恐れがあります。

ホーム画面

本機が起動すると、次の画面(ホーム画面)を表示します。
ホーム画面の各アイコン、ボタンについて説明します。



① 録画時間

録画時間を表示します。
※ドライブレコーダー機能使用時

② 録画解像度

録画解像度を表示します。

③ GPSインジケーター

GPSを受信すると点灯します。

④ Bluetoothインジケーター

Bluetoothがオンの時点灯します。

⑤ Wi-Fiインジケーター

Wi-Fiがオンの時点灯します。

⑥ Gセンサーインジケーター

Gセンサーがオンの時点灯します。

⑦ メモリーカードインジケーター

microSDカードが挿入された時点灯します。

⑧ 「ドライブレコーダー」ボタン

ドライブレコーダー画面へ切り替えます。
※カメラ未接続時はタップ操作無効

⑨ 「CarPlay」ボタン

CarPlay接続画面へ切り替えます。

⑩ 「Android Auto」ボタン

Android Auto接続画面へ切り替えます。

ホーム画面

⑪ 「パネル」 ボタン

メーターパネル画面へ切り替えます。

⑫ 「リプレイ」 ボタン

録画映像再生画面へ切り替えます。
※microSDカード未挿入の場合は無効

⑬ 「設定」 ボタン

設定画面へ切り替えます。

⑭ 「Bluetooth」 ボタン

Bluetooth接続画面へ切り替えます。

⑮ 明るさ調整

バーを左右にスライドして画面の明るさを調整します。

⑯ 音量調整

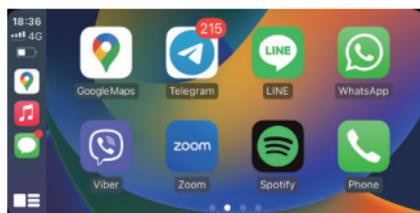
バーを左右にスライドして音量を調整します。

CarPlay／Android Autoについて

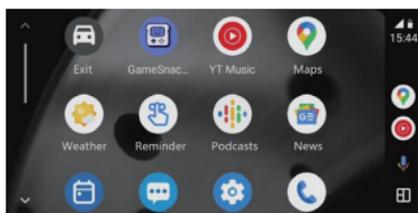
CarPlayやAndroid Autoをワイヤレスで接続できます。

●接続方法

- 1.本機のWi-Fiをオンにした状態で、CarPlayもしくはAndroidAutoのアイコンをタップして接続待機画面を表示します。
- 2.iPhone/AndroidスマートフォンのBluetoothとWi-Fiをオンにして、スマートフォン端末のBluetooth設定から本機とペアリングします。
- 3.ペアリングが完了すると自動的に接続されます。



Apple CarPlay



Android Auto

●注意事項

最初の接続では、携帯端末のBluetoothをオンにし、本機のBluetoothに接続
5～10秒待ち、携帯端末のポップアップウィンドウに入ってCarPlayを使用します。
携帯端末のCarPlayインターフェースは自動的に通信されます。

本機のBluetooth/Wi-Fiがオンになっている限り、次回から起動時は自動的に接続され、接続作業は必要ありません。

※最初の接続では、接続に多少の時間が必要となります。

※Bluetoothは認証後に自動的に切断されます。

メーターパネル画面

メーターパネル画面では本機搭載のGPSモジュールで受信した情報をもとに、走行速度や日時などを表示します。



① 戻る

前画面に戻ります。

③ 方位

方位を表示します。

② 走行速度

走行中の速度を表示します。

④ 日時

日付/時刻を表示します。

設定画面

設定画面では本機システムの各種設定を変更できます。



 <p>タイヤ空気圧</p> <p>使用しません。</p>	 <p>スピード単位</p> <p>メーターパネルの速度単位を切り替えます。</p>	 <p>スリープ</p> <p>操作しない場合に画面表示が消えるまでの時間を設定します。 ※オフの場合は常時表示</p>
 <p>GPS情報</p> <p>GPS信号情報を表示します。</p>	 <p>言語</p> <p>表示言語を設定します。</p>	 <p>時間設定</p> <p>日付・時刻を設定します。 (GPS/Wi-Fi/Bluetoothに接続時は時刻を自動的に更新します)</p>
 <p>スマホ音声出力</p> <p>スマートフォンへの音声出力オン/オフを切り替えます。</p>	 <p>タッチ操作音</p> <p>タッチキー音のオン/オフを切り替えます。</p>	 <p>Wi-Fiスイッチ</p> <p>Wi-Fiのオン/オフを切り替えます。</p>
 <p>SDカード フォーマット</p> <p>microSDカードをフォーマットします。</p>	 <p>出荷時設定へ リセット</p> <p>各種設定をリセットします。</p>	 <p>APP-バージョン</p> <p>録画映像再生アプリの情報を表示します。</p>

ドライブレコーダー画面

ドライブレコーダー画面で録画に関する各操作を行います。

※カメラ未接続の場合、ドライブレコーダー画面は表示できません。



① 録画ボタン

録画を開始/停止します。

② 静止画ボタン

フロントカメラとリアカメラで同時に静止画を撮影します。

③ ロックボタン

録画中のファイルをロック/ロック解除します。

④ 録音ボタン

音声録音をオン/オフにします。

⑤ 表示切替ボタン

カメラ表示を切り替えます。

⑥ 再生ボタン

再生画面を表示します。

⑦ 録画設定ボタン

録画設定画面を表示します。

⑧ ホームボタン

ホーム画面に戻ります。

⑨ 時刻

現在の時刻を表示します。

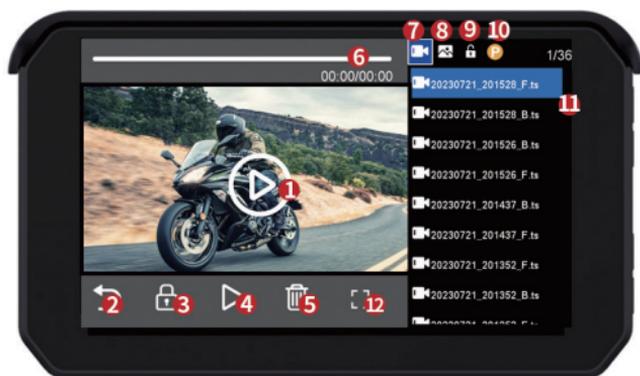
録画設定について

録画設定画面では録画時の各種設定を変更できます。

 解像度 録画解像度を設定します。	 ループ録画 1ファイルごとの録画時間を設定します。	 Gセンサー Gセンサー(衝撃検知)の感度を設定します。
 日付印 録画日時を表示オン/オフを切り替えます。	 録音設定 録音のオン/オフを切り替えます。	 リアカメラ ミラーリング リアカメラの正像/鏡像表示を切り替えます。 ※オンで鏡像表示
 gps speed osd GPSで受信した速度情報を表示します。	 gps pos osd GPSで受信した位置情報を表示します。	 gps altitude osd GPSで受信した海拔高度情報を表示します。

再生画面

ホーム画面の「リプレイ」またはドライブレコーダー画面の「再生」ボタンを押すと再生画面を表示します。



① 再生画面

再生ボタンで再生を開始します。

② 戻るボタン

前画面に戻ります。

③ ロックボタン

録画中のファイルをロック/ロック解除します。

④ 再生ボタン

再生を開始/一時停止します。

⑤ 削除ボタン

ファイルを削除します。

⑥ シークバー

再生箇所を表示します。

⑦ 動画ファイル

動画ファイル表示に切り替えます。

⑧ 静止画ファイル

静止画ファイル表示に切り替えます。

⑨ ロックファイル

ロックファイル表示に切り替えます。

⑩ 駐車監視ファイル

駐車監視ファイル表示に切り替えます。

⑪ ファイル一覧

保存されたファイル一覧を表示します。

⑫ 全画面ボタン

再生画面を全画面表示に切り替えます。

スマートフォン用再生アプリについて

再生アプリをインストールしたスマートフォンと本機をWi-Fi接続することで、スマートフォンで録画済の映像や各種設定などの確認ができます。

●再生アプリのダウンロード

1.設定画面からAPP-バージョンを選択

2.表示されたQRコードよりダウンロード可能です。

※ダウンロード不可能や使用できない機種もございます。

※アプリの使用に関しましては保証サポート対象外となります。



●Wi-Fi接続について

1.本機の設定画面よりWi-Fiをオンにしてください。

2.スマートフォン端末のWi-Fi設定で本機を選択し、パスワードを入力して接続します。

※本機のデバイス名とパスワードは設定画面>APP-バージョンに記載

※一部のAndroidスマートフォンでは、「このネットワークではインターネットにアクセスできません」または同様の情報が表示されます。「今回のみ接続」または「常に接続」のオプションを選択してください。

(本機のWi-Fiは、本機とスマートフォンとの接続や操作にのみ使用され、インターネットには接続しません。)

※アプリの使用やアプリインストールによる不具合等に関しましては保証サポート対象外となります。インストール及び使用はご自身の責任にて行ってください。

製品仕様

防塵防水:IP65相当
入力機能:Apple Carplay/Android Auto
録画解像度:1080P+1080P
カメラ仕様:フロント×1/リア×1
動作電圧:DC12-24V／5V 2A
液晶サイズ:5インチIPSディスプレイ
Wi-Fi機能:○
GPSトラック:○
フォーマット:H.264 TSファイル
メモリーカード:microSDカード 128GBまで Class10以上

よくあるご質問

Q1.Car PlayまたはAndroid autoを切断するにはどうすればよいですか？

A: WiFi をオフにするか、Bluetoothデバイスをオフにしてください。

Q2.Car Play/Android autoを手動で切断した後、再接続するにはどうすればよいですか？

A: Bluetooth経由で本機に再接続するだけです。

Q3.再起動した後、Car play/Android autoに再接続するにはどうすればよいですか？

A: BluetoothとWi-Fiの両方が有効になっている場合は、自動的に再接続されます。

Q4.microSDカードがフォーマットできなくなった

A: microSDカードの寿命となりますので、新品に交換が必要です。

※microSDカードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。
また使用状況によりmicroSDカードの寿命は短くなります。

※書き込み回数の上限に達すると、「書き込み禁止」の状態となりフォーマットができなくなります。

Q5.スマートフォンと接続できない

・スマートフォンのWLAN (Wi-Fi) 機能はONになっていますか？

・WLAN (Wi-Fi) が繋がりにくい場所で作業を行っていませんか？

・スマートフォンとのWi-Fi接続時に入力したパスワードが間違っていないですか？

※本製品は、複数台のスマートフォンとの接続はできません。

本製品が既に他のスマートフォンとWi-Fi接続状態にある場合は、その接続を解除してからお試しください。

Q6.記録が出来ない

A: ファイルの読み込みが遅いmicroSDカードが破損している可能性があります。

新しいmicroSDカードに差し替えてください。